



増子 義久 議員

## 中心市街地の活性化は 持続可能な都市の再構築を図る

**Q** 旧花巻市内の中心市街地の位置づけ（エリア）と活性化の全体のイメージ（青写真）について、どう考えているか。

**【市長】** 中心市街地とは、市内のほかの地域と比較して小売商業や各種事業所、公共施設等の都市機能が集積した、まちの拠点ということになる。花巻地域における中心市街地は、明確な範囲の設定はないが、花巻駅や市役所を中心とした人口集中地区と考えている。活性化のイメージについては、公共公益施設の再配置や集積、街なか居住施設や交通アクセスの整備などによる暮らしやすいコンパクトなまちづくりを通じて活性化を図っていきたいと考えている。

## 賢治のまちづくりは

**Q** 将来都市像「イーハトーブはなまき」を実現するに際し、「観光資源」として宮沢賢治をどう生かそうとしているのか。

また、東日本大震災を契機に賢治精神や理念が世界的に再評価されたが、その幅広いメッセージ性を今後、まちづくりにもどのように反映させるつもり

か伺う。

**【市長】** 宮沢賢治は偉大な郷土の先人であり、現時点においても、観光面での恩恵を受けているものと思っており、今後も、広く皆様の意見を伺いながら進めていく。現在、宮沢賢治記念館のリニューアルも進めており、高村光太郎記念館との連携を図るなどさらなる魅力の向上に努める。

また、理念をどう生かすかについて、現在、具体的な考えは持っていないが、今後、観光関係者など多くの皆様の意見を聞きながら研究していきたい。

【そのほかの質問】 自然休養村広場とクレイ射撃場について



暮らしやすいコンパクトなまちづくりが求められる

市政「こが聞きたい」

市政「こが聞きたい」



藤井 幸介 議員

## 新図書館に学習スペースの設置を 機能を踏まえて設置に向け検討

**Q** （仮称）花巻中央図書館が建設予定だが、中学生や高校生が利用できる学習スペースが必要と考える。現在「まなび学園ホール」などが学習に利用されているが、ぜひ、新図書館には、ゆとり学習できるスペースを設置すべきと考えるがどうか伺う。

**【市長】** 学習スペースは、学生から大人まで一定のニーズがあるので、図書館機能の再検討の中で設置について検討していく。

## 他市の介護保険料は

**Q** 本市と近隣他市の介護保険料はいくらか伺う。

また、10年後には2025年問題として、全国で約1千万人、総人口の約1割、本市ではおよそ3人に1人が75歳以上の後期高齢者となるが、今後、介護保険料が急激に上がらないようにすべきと考えるがどうか伺う。

**【市長】** 第5期介護保険事業計画における本市の第1号被保険者の保険料は、基準額で月額4859円であり、県内の平均月額4851円とほぼ同水準となっている。近隣他市の月額保険料は、八幡平市が5420円、盛岡市が5245円、一関市が4797円、北上市が4510円、奥州市は4333円などとなっている。

今後、団塊世代が後期高齢者となり、高齢者を地域で支える取り組みが必要である。このことから、第6期介護保険事業計画以降、着実に地域包括ケアシステムに向けた仕組みづくりを図っていくよう計画を策定していく。

【そのほかの質問】 「新地方公会計制度について



まなび学園内の学習スペース



櫻井 肇 議員

## 合衆市の評価と総合支所の充実は 総合支所はまちづくりの拠点

**Q** ①「合衆市」構想の評価について伺う。

②コミュニティ会議の代表者を地域協議委員会とする考えはないか伺う。

③総合支所の充実はどうか伺う。

**【市長】** ①コミュニティ会議においては、地域の課題把握と解決に努め、地域の自主的なまちづくりが推進され、一定の成果を上げてきたものと考えている。現在、コミュニティ会議や総合支所の在り方について検討している。

②地域協議会の委員の構成は、地域の実情に合わせて選任している。

③「地域のことは地域で完結する」とことを目指し、総合支所がまちづくりの拠点として予算や権限、組織や内部事務の仕組みの見直しについて検討を進めている。

## 災害対策の現状は

**Q** ①昨年8月9日の豪雨災害復旧の現状と見通しを伺う。

②土砂災害警戒区域の指定について現状を伺う。

③同区域の住民への周知や情報提供および雨量計設置の現状と対応を伺う。



3 総合支所の1つ東和総合支所

【そのほかの質問】 「みちのくALERTE（アラート2014）について、農業問題について

**【市長】** ①災害復旧の現状は、公共土木施設で進捗率は84%となっている。河川復旧は、非出水期の10月に着手し、年度内に完了する。

②県が指定する土砂災害警戒区域は、花巻地域のみ76カ所となっており、今後ほかの3地域についても順次、指定を進めていくと伺っている。

③土砂災害危険箇所や避難勧告または避難指示を発令した場合の情報伝達について、区長や広報紙を通じて周知している。危険箇所への雨量計は市内12カ所に設置されている。



照井 明子 議員

## 花巻コールセンターの実態は 再就職の確保支援に努める

**Q** 緊急雇用創出事業を活用した（株）DIOジャパン関連のコールセンター（委託料1億5千万円余）で、事業所閉鎖、賃金未払い、補助金の不適正使用が明らかになっている。従業員の賃金未払いの実態と再就職の確保を伺う。

また、徹底調査と補助金返還を国から指示されたが市の対応を伺う。

**【市長】** 花巻コールセンターは雇用機会の創出に向けた新規企業立地の誘導と、失業者の研修を通じて人材育成を目的に、国のメニューに沿った中で事業実施に至った。本年8月26日、労働基準監督署は、同コールセンターの倒産認定を行い、国の未払賃金立替制度が適用される。離職した22人のうち14人が花巻公共職業安定所管内に居住しており7人の再就職が決定。残る方々の再就職を支援していく。

また、補助金の返還請求が必要となった場合、国県と協議し、請求を行うことを検討する。

## 国保税の引き下げを

**Q** 6月定例会において、「国民健康保険税の見直しが必要」と



花巻コールセンター跡(花巻第一工業団地テクノパーク・二枚橋地内)

答弁しているが引き下げについて伺う。

**【市長】** 平成25年度末の国保税である。28年度の単年度収支は、国からの震災関連交付金が終了することから約4億円の赤字、29年度は国保運営の県移行により約6億円の赤字となり、29年度末の剰余金は2億円まで減少すると見込んでいる。国保の安定的運営のための財源を確保しつつ、応能・応益のバランスや後期高齢者支援金、介護納付金に配慮しつつ引き下げに向けて具体的内容を検討する。

【そのほかの質問】 集団的自衛権の行使容認問題について（仮称）こどもの城構想について